

支援学級「卒業生を送る会」(12月13日)

12月13日(火)の午前9時から10時30分にかけて、堅下北小学校にて支援学級「卒業生を送る会」が行われました。3年前までは市内全域の支援学級入級生が一堂に会して行われていたのですが、新型コロナウイルスの影響で中止となっており、今年度は中学校区ごとの交流会を兼ねた形に変更して実施することになりました。堅下小、堅下北小、堅下北中入級生が体育館に集まり、自己紹介やレクレーションなどの交流を行いました。中学生は司会や進行を務めるなど上級生らしい働きをしており、例えば、小学生とペアでラケットに風船を挟んで走るゲームでは、かがんで小学生の身長に合わせてあげたり、グループで回答するゲームでは、小学生の意見を一人ずつ丁寧に聞いてあげたりと、「お兄さん」「お姉さん」らしい優しさや面倒見の良さが随所に見られました。最後の卒業生から一言話す場面では、3年生が卒業後の目標や今後やりたいことについて、最上級生らしい堂々とした発表をしてくれました。限られた時間ではありましたが、とても生徒の成長が感じられる行事だったように思います。

